marantz®

Model SR110 取扱説明書

Receiver

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

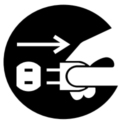
絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

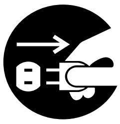


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警　告

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け

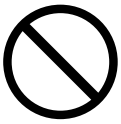
● 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

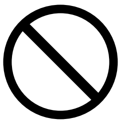
● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

接触禁止

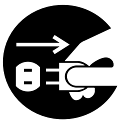
● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



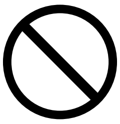
● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や低部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

警告

- この機器を設置する場合は、壁から2.5cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2.5cm以上、背面から2.5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

- この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- ディスクの再生する前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、またはテレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみなる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。

注　意

- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス⊕端子とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

- 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池室についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

目次

各部の名称と動作 1

フロントパネル 1
リアパネル 3
リモコン 4
　リモコンの使用方法 6
　　使用上の注意 6
　　電池についてのご注意 6
　　リモコン操作範囲 6
　　電池の入れ方 6

接続方法 7

アンテナの準備 7
　付属 AM アンテナの組み立て 7
　FM アンテナの準備 7
アンテナとスピーカーの接続 8
　スピーカー接続の準備 8
　本機へのアンテナとスピーカーの接続 8
システム接続 9
電源との接続 11
他のオーディオ機器との接続 12

本機の操作方法 13

アンプの操作 13
　オーディオ機器の再生 13
　音声を一時的に消す（ミュート） 14
　スピーカーのバランスを調整する 14
　トーンを調整する（トーンコントロール） 15
　WOW 機能を使う 15
チューナーの操作 16
　FM/AM 放送を聞く 16
　放送の自動選局 17
　受信モードの切り換え 18
　放送局の自動登録 19
　放送局の手動登録 20
　登録した放送局を呼び出す 20
本機を使っての録音 21
　放送の録音 21
　接続された機器間の録音 21

タイマー機能をつかう 22

時間を設定する 22
　本機での時間設定 22
　リモコンでの時間設定 23
タイマーを設定する 24
　タイマー設定方法 24
　　リモコンを使ってのタイマーを設定するときは 25
　タイマー設定の注意 26
　タイマー設定の確認 / 変更 26
　タイマー設定の解除 26
　スリープタイマーの設定 26

その他 27

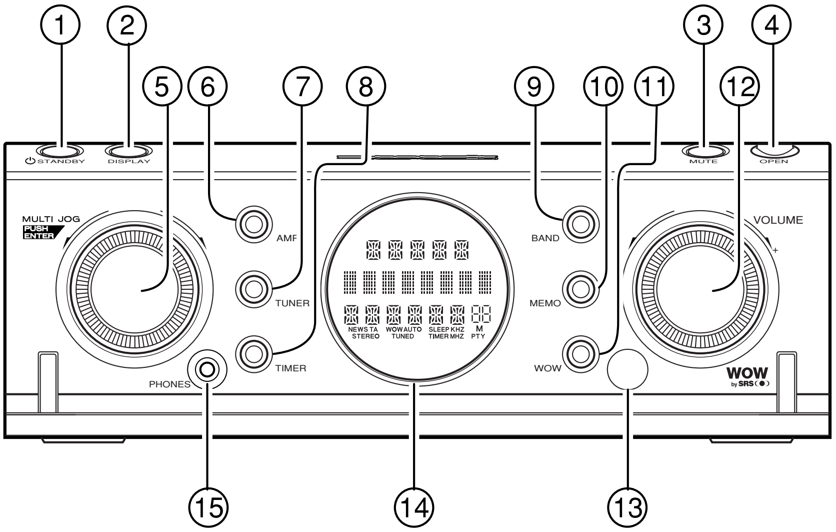
故障とお考えになる前に 27
メモリーのバックアップについて 28
　時間設定のバックアップについて 28
保証とアフターサービス 28
　その他のバックアップについて 28
　　ステレオ 音のエチケット 28
仕様 29

WOWと (●)® 記号はSRS Labs, Inc.の商標です。

WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

各部の名称と動作

フロントパネル



① ⏻STANDBY（スタンバイ）ボタン・表示インジケーター

- 押すと電源が入り、ボタンが緑色に点灯します。もう一度押すとスタンバイ状態になり、ボタンが赤色に点灯します。
- システム接続されている時は、接続されている機器の電源もこのボタンを押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、ボタンが赤色に点灯します。システム接続できるのは、当社CDプレーヤーCD110、CDレコーダーDR110またはMDデッキMD110です。
- タイマーを設定して、スタンバイ状態にすると、ボタンがオレンジ色に点灯します。

② DISPLAYボタン

- ディスプレイの表示を切り替えます。
- スタンバイ状態でも、このボタンを押すと10秒間時間が表示されます。

③ MUTEボタン

- スピーカーからの音声を一時出力しなくなります。

④ OPEN ボタン

- 押すとフロントドアが前方向に開きます。

⑤ マルチジョグダイヤル

- 各モード時に様々な機能を切り替えます。
  アンプモード時
  接続されている機器の選択
  スピーカーバランスの調整
  トーン（BASSまたはTREBLE）の調整
  チューナーモード時
  受信周波数の切り替え
  プリセットされている放送局の切り替え
  自動選局への切り替え
  受信モードの切り替え
  タイマーモード時
  タイマーの設定・解除
  タイマーの確認

⑥ AMP ボタン

- 本機をアンプモードにします。アンプモードでは、以下のような設定ができます。
  音量の調整
  スピーカーバランスの調整
  トーン（BASSまたはTREBLE）の調整

フロントパネル

⑦　TUNER ボタン

- 本機をチューナーモードにします。チューナーモードでは、以下のような設定ができます。
  受信周波数の切り替え
  プリセットされている放送局の切り替え
  FMステレオ放送のステレオとモノラルの切り替え

⑧　TIMERボタン

- タイマーの設定・解除、確認を行います。

⑨　BAND ボタン

- チューナーモード時、受信モード（FMまたはAM）を切り替えます。

⑩　MEMO ボタン

- プリセットの登録、時刻の設定を行います。

⑪　WOWボタン

- WOW機能を切り替えます。WOW機能を使うと大型のスピーカー等を使わずに迫力ある低音が再現できます。

⑫　VOLUMEツマミ

- 音量の調整を行います。右に回すと音量が大きくなります。左に回すと音量が小さくなります。

⑬　リモートコントロールセンサー

- 付属のリモコンをこの受光部に向けて操作してください。

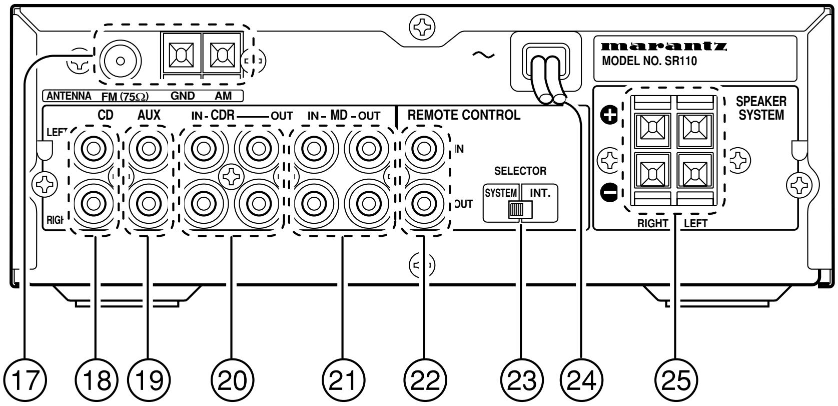
⑭　表示窓

- 周波数や選択した機器または各種の設定内容を表示します。

⑮　ヘッドホン端子

- ヘッドホン用の接続端子です。
  ヘッドホンをお使いのときは、スピーカーから音声は出力されません。

リアパネル



⑰ ANTENNA (AM/FM)**端子**

- 付属のFMフィーダーアンテナもしくは屋外アンテナを接続します。
- 付属のAMループアンテナもしくは屋外アンテナを接続します。

⑱ CD**入力端子**

- CDプレーヤーからのアナログ信号を入力する端子です。
- 当社CDプレーヤーCD110をご使用のときは、CD110のANALOG OUT端子と本端子を接続してください。

⑲ AUX**入力端子**

- DVDプレーヤーやテレビ等からのアナログ信号を入力する端子です。

⑳ CDR**入出力端子**

- CDレコーダーからのアナログ信号を入出力する端子です。
- 当社CDレコーダーDR110をご使用のときは、DR110のANALOG OUT端子と本端子のINを接続してください。また、ANALOG IN端子と本端子のOUTを接続してください。

㉑ MD**入出力端子**

- MDデッキからのアナログ信号を入出力する端子です。
- 当社MDデッキMD110をご使用のときは、MD110のANALOG OUT端子と本端子のINを接続してください。また、ANALOG IN端子と本端子のOUTを接続してください。

㉒ REMOTE CONTROL**(リモコン端子)**

本端子と当社CDプレーヤーCD110、CDレコーダーDR110またはMDデッキMD110のリモコン端子とリモートコントロールケーブルで接続すると、以下の機能が使用できます。

- システム機能(CDダビング機能など)が使用できます。
- 本機のPOWERボタンを押すと、連動して接続された機器の電源もスタンバイ/オンを切り替えます。(リモコンセレクターが"EXT."の場合のみ)
- 接続された機器の再生ボタンを押すと、入力セレクターは自動的に再生を始めた機器に切り替わります。(リモコンセレクターが"EXT."の場合のみ)

㉓ SELECTOR (**リモコンセレクター**)**スイッチ**

- 当社CDプレーヤーCD110、CDレコーダーDR110またはMDデッキMD110のリモートコントロール端子と本機のリモートコントロール端子を接続した場合は"EXT."側にしてください。
- その他の場合は"INT."側にしてください。

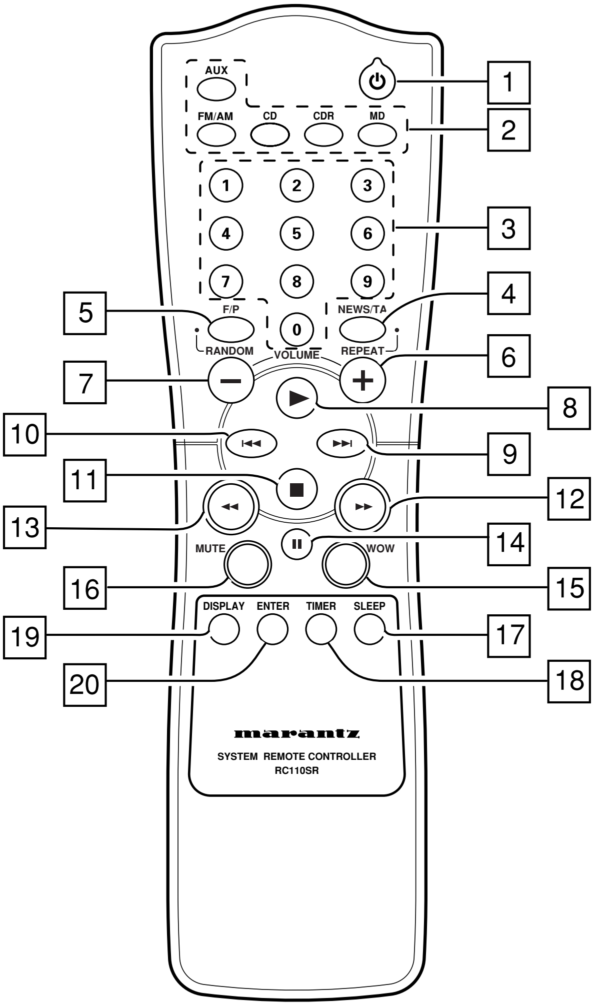
㉔ **電源コード**

- 接続がすべて終了したら、家庭用電源コンセント(交流100V)に接続してください。

㉕ **スピーカー接続端子**

- 左右のスピーカーを接続してください。

リモコン



1 ⏻（スタンバイ）ボタン

- 本機電源のスタンバイ／オンを切り替えます。ただしシステム機能でご使用される場合、接続されている当社CDプレーヤーCD110、CDレコーダーDR110またはMDデッキMD110のスタンバイ／オンも連動して切り替えます。

2 ファンクションボタン

- アンプやレシーバーの音源を切り替えるときに使います。
- 押した機器の操作ができるようになります。このボタンを押してください。

3 数字キー

- 曲番を選択するときに使用します。
- タイトル編集のときに文字を選びます。

4 NEWS/TA REPEATボタン

- ファンクションボタンで選んだ機器のディスク全曲または1曲をリピート再生するときに使用します。

5 F/P RANDOMボタン

- チューナーモード時のプリセットチャンネルと周波数表示を切り替えるときに使用します。
- ファンクションボタンで選んだ機器の曲をランダム再生するときに使用します。

6 VOLUME+ボタン

- 音量を大きくするときに使用します。

7 VOLUME−ボタン

- 音量を小さくするときに使用します。

8 ►（再生）ボタン

- ファンクションボタンで選んだ機器の再生をします。

9 10 ►►I ／ I◄◄（スキップ）ボタン

- チューナーモード時に、プリセット番号の変更を行います。
- ファンクションボタンで選んだ機器の再生中に曲番を前後にスキップさせます。曲番を選ぶと、自動で演奏が始まります。

リモコン

⑪ ■(ストップ)ボタン
- ファンクションボタンで選んだ機器の再生、録音、各種操作を停止するときに使用します。

⑫ ⑬ ►► ／ ◄◄(早送り／早戻し)ボタン
- チューナーモード時に、周波数の変更を行います。
- ファンクションボタンで選んだ機器の再生中の曲を早送り／早戻しします。

⑭ ▮▮(ポーズ)ボタン
- ファンクションボタンで選んだ機器の再生中／録音中に押すと一時停止します。一時停止を解除するには►(再生)ボタンを押します。

⑮ WOWボタン
- WOW機能を切り替えます。WOW機能を使うと大型のスピーカー等を使わずに迫力ある低音が再現できます。

⑯ MUTEボタン
- スピーカーからの音声を一時出力しなくなります。

⑰ SLEEPボタン
- 設定した時間で自動的に、電源をスタンバイ状態にします。

⑱ TIMERボタン
- タイマーの設定・解除、確認を行います。

⑲ DISPLAYボタン
- ディスプレイの表示を切り替えます。

⑳ ENTERボタン
- 各種の編集内容を確定するときに使用します。

リモコン

リモコンの使用方法

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たっていると、リモコンが操作できない場合があります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

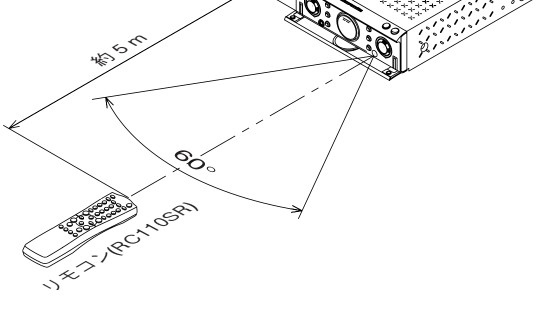
電池についてのご注意

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。
以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

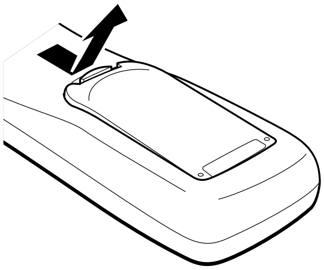
リモコン操作範囲

リモコンは 下図のように本機より 5m 以内、リモコン受光部より左右 60 ° の範囲でお使いください。

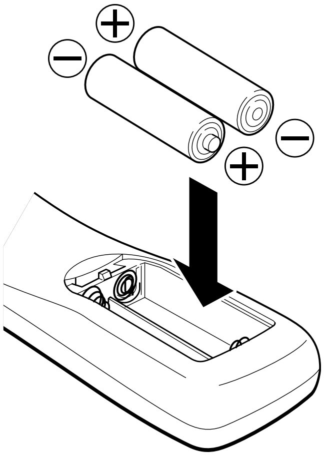


電池の入れ方

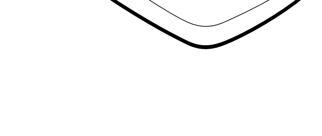
1. **リモコン裏面の電池フタのツマミを矢印の方向につまみ、上に引き上げます。**



2. **新しい単3形乾電池2本を、極性表示(＋：プラスと－：マイナスの向き)に注意し、表示通りに正しくセットしてください。**



3. **電池フタを元の位置にセットし、矢印の方向へ押して閉めます。**



⚠注 意

古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。腐食の原因となることがあります。

接続方法

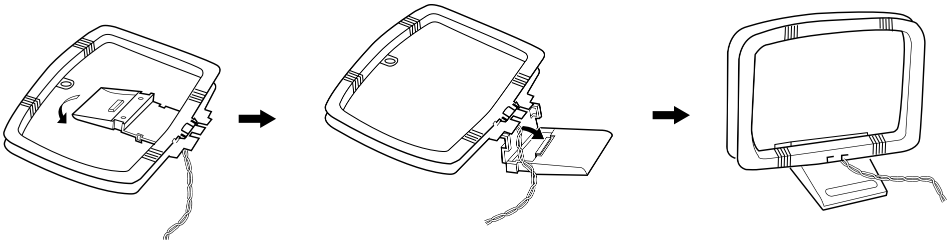
アンテナの準備

接続時の注意

- **交流 100 ボルト以外の電圧を使用しないでください。火災、感電の原因になります。**
- **電源の抜き差しは必ずプラグを持って行なってください。**
- **全ての接続が終わってから電源コードを差し込んでください。**
- **オーディオケーブルのプラグは、L（白）、R（赤）を正しく接続してください。**
- **光デジタルケーブルは奥までしっかり差し込んでください。**
- **光デジタルケーブルを接続する際は、接続端子のキャップを外してご使用ください。また、使用しない場合はほこりなどが入らないようにキャップは付けておいてください。**
- **接続する際は、接続される機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。**

付属 AM アンテナの組み立て

下図のように付属 AM アンテナを組み立ててください。

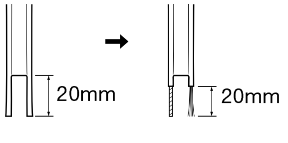


FM アンテナの準備

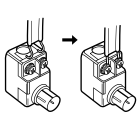
下図のように FM アンテナを組み立ててください。

300 Ω平行フィーダーの場合

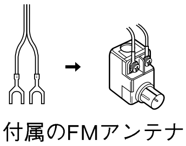
300 Ω平行フィーダー線を加工する。



300 Ω端子に取付ける。



ネジをゆるめてフィーダー線を巻きつけ、ネジをしめる。

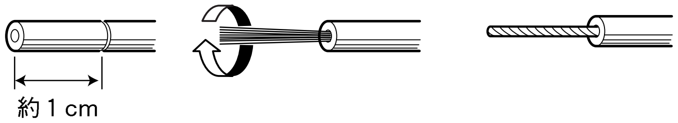


付属のFMアンテナを使用する場合は、フィーダー線の加工は必要ありません。

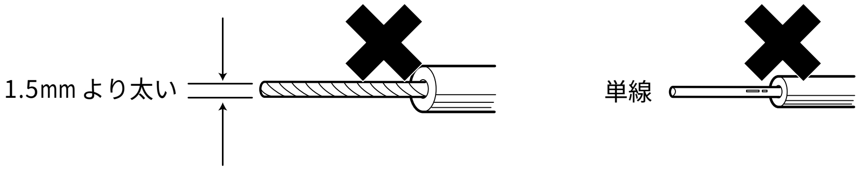
アンテナとスピーカーの接続

スピーカー接続の準備

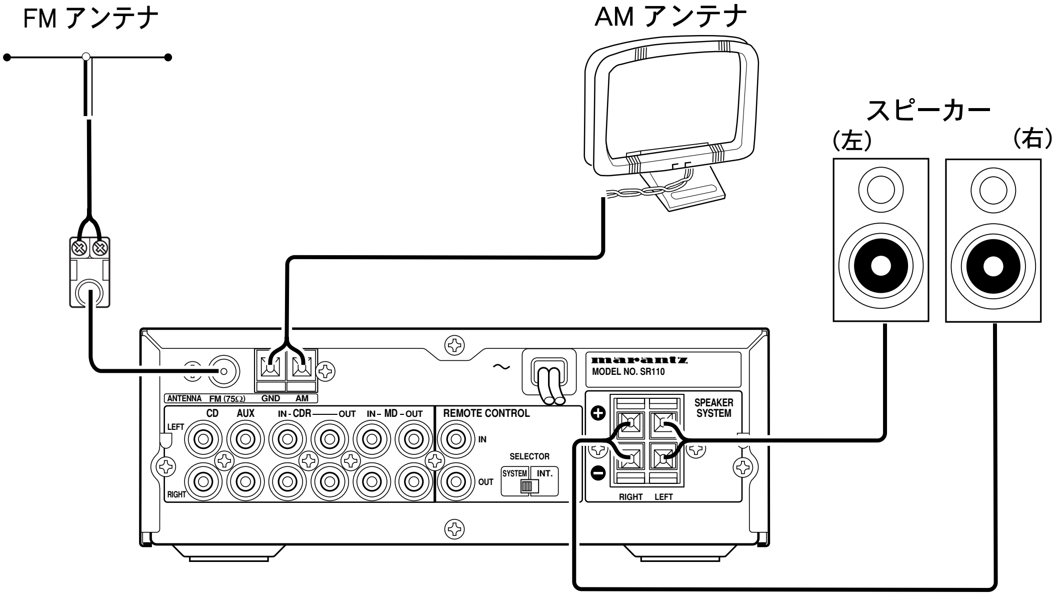
- スピーカーコードを接続する際は、ショートしないよう十分注意して下さい。故障の原因となります。
- 付属のスピーカーコードを接続する際は、左右（L,R）のスピーカーや、“ ＋ ”（赤い線有り）、“ － ”（赤い線無し）を確認して、正しく接続して下さい。間違えた場合、再生音が不自然になります。
- 市販のスピーカーコードをお使いのときは、下図のように被服を剥いでください。



- 市販のスピーカーコードをお使いのときは、下記のような芯線が1.5㎜より太いスピーカーコードや、単線のスピーカーコードを使うとスピーカー接続端子を破損する恐れがあります。



本機へのアンテナとスピーカーの接続

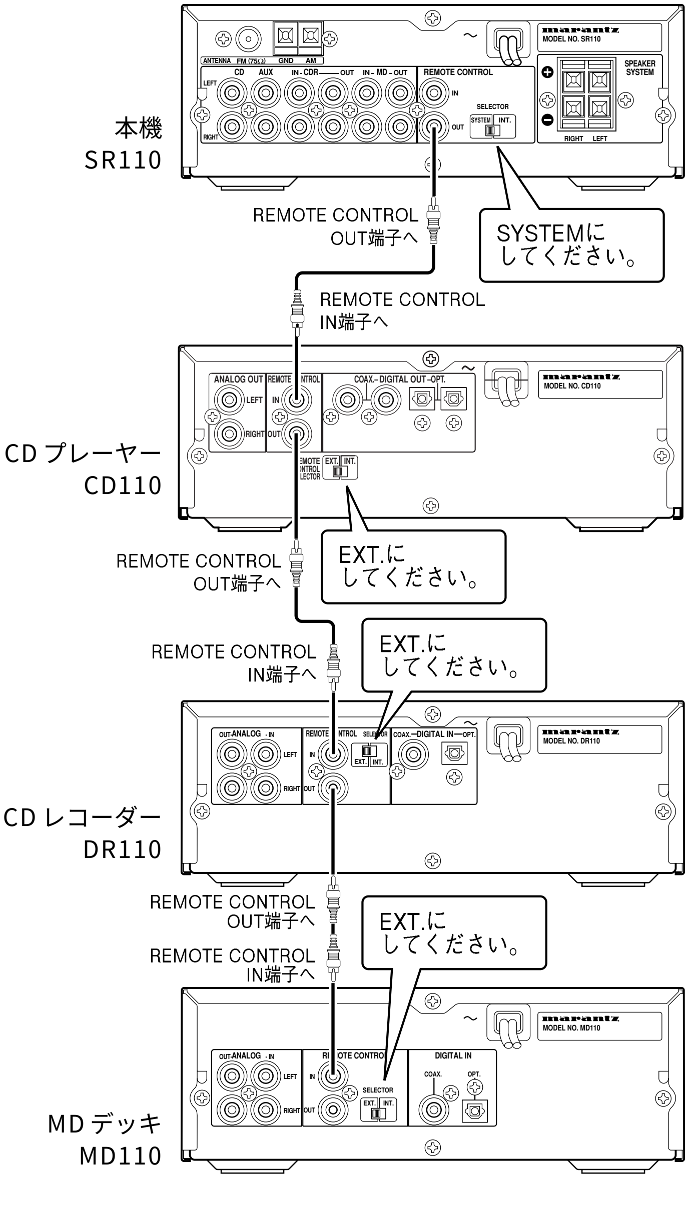


システム接続

- 当社CDプレーヤーCD110、CDレコーダーDR110およびMDデッキMD110を使ってシステム接続することができます。
- システム接続を行うには、次のことを行ってください。
  本機の入出力端子と上記機種に適合する各入出力端子を接続します。
  各機器間を REMOTE CONTROL **（リモコン端子）**IN/OUT **端子で接続します。**
  本機の SELECTOR (**リモコンセレクター**)**は、「**SYSTEM**」にしてください。**
  接続される機器の SELECTOR **は、「**EXT.**」にしてください。**
- システム接続を行うことで、次のことが可能になります。
  本機の電源スタンバイ / オン動作に連動して、接続されている機器も電源スタンバイ / オン状態になります。
  本機のタイマー機能を使って、接続されている機器の再生または放送の録音ができます。
  本機に接続されている機器が再生を始めると、自動的に入力を切り替えます。
- システム接続を行うときは、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。

各機器間のREMOTE CONTROL（リモコン端子）の接続は右の図のように行ってください。

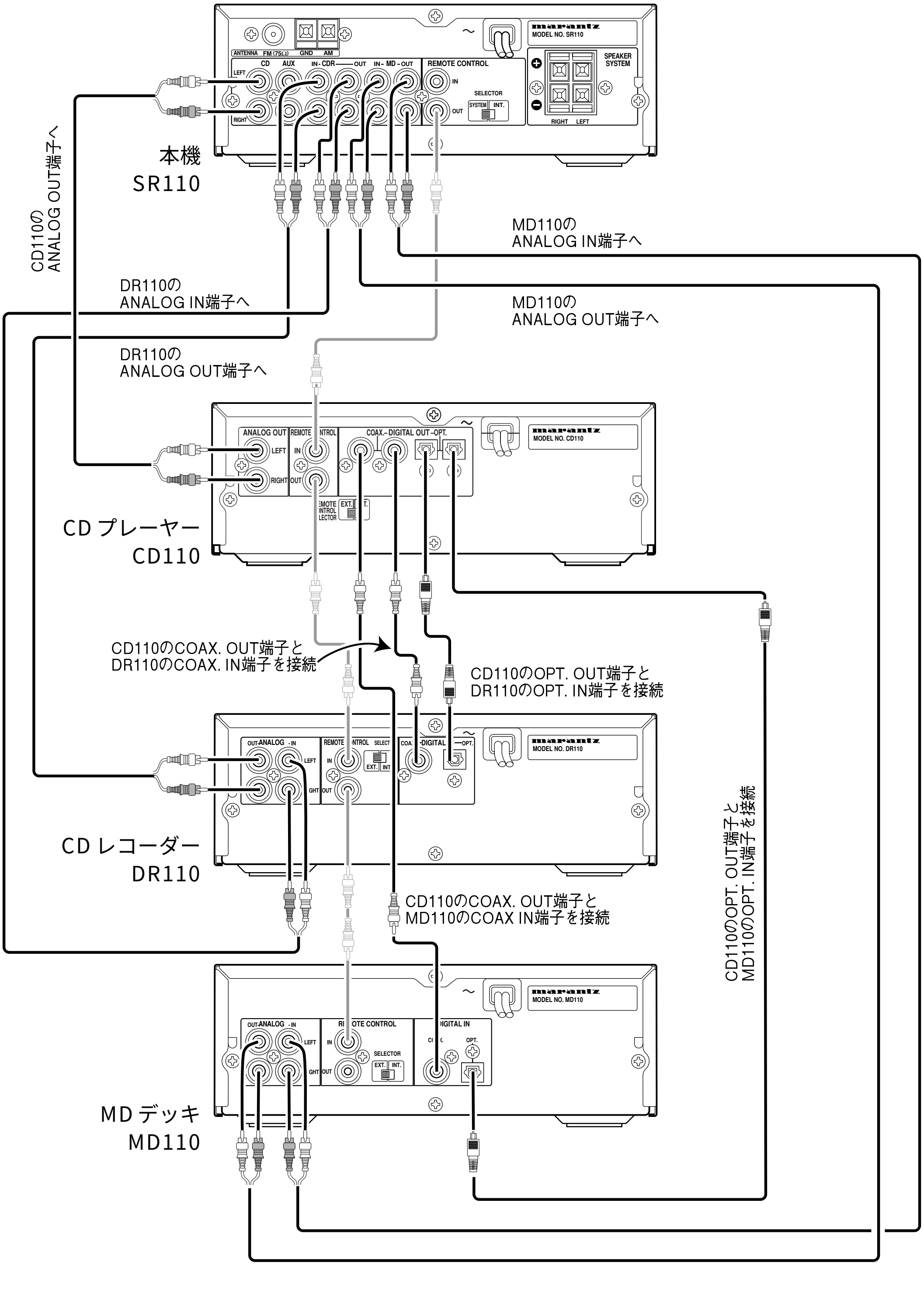
- 各機器間の接続は、付属のリモートケーブルをご使用ください。



システム接続

各機器間の入出力端子の接続は下記のように行ってください。

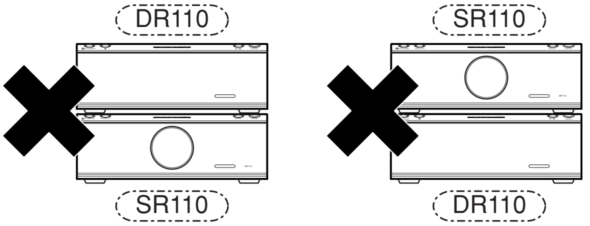
- REMOTE CONTROL（リモコン端子）の接続は、前ページをご覧ください。したがいまして、本ページでは、REMOTE CONTROL の接続は、薄く表示されています。
- CD110 と DR110、MD110 の COAX 接続は、DR110、MD110 に付属の同軸ケーブルをご使用ください。また、OPT 接続は、市販の光デジタルケーブルをご使用ください。



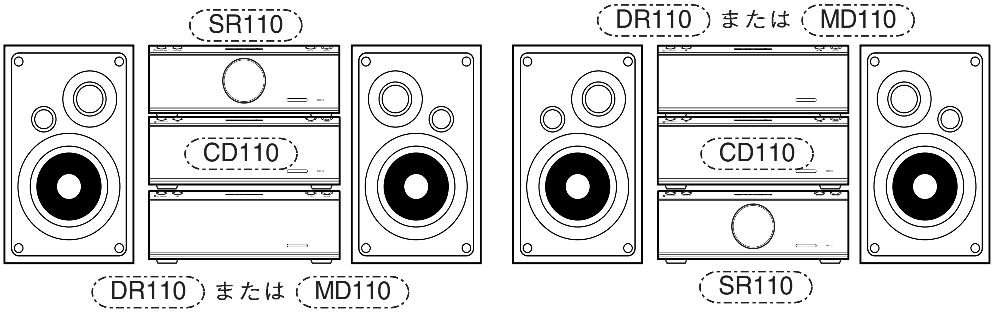
システム接続

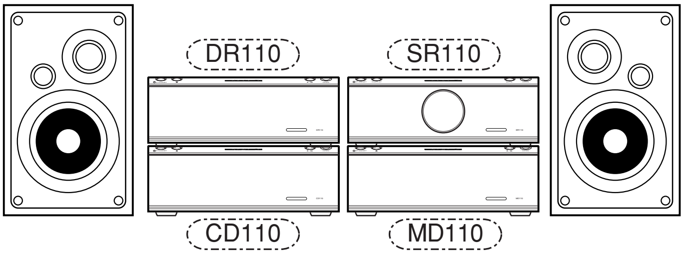
各機器間を設置する際には下記のように行ってください。

- SR110 と DR110 を積み重ねるような設置は行わないでください。
  したがいまして、下図のような設置方法はお避けください。



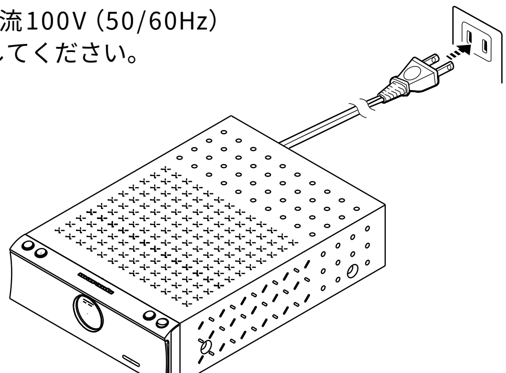
- SR110 と DR110 は、極力風通しの良い位置に設置してください。
  下図のような設置方法をお勧めします。





電源との接続

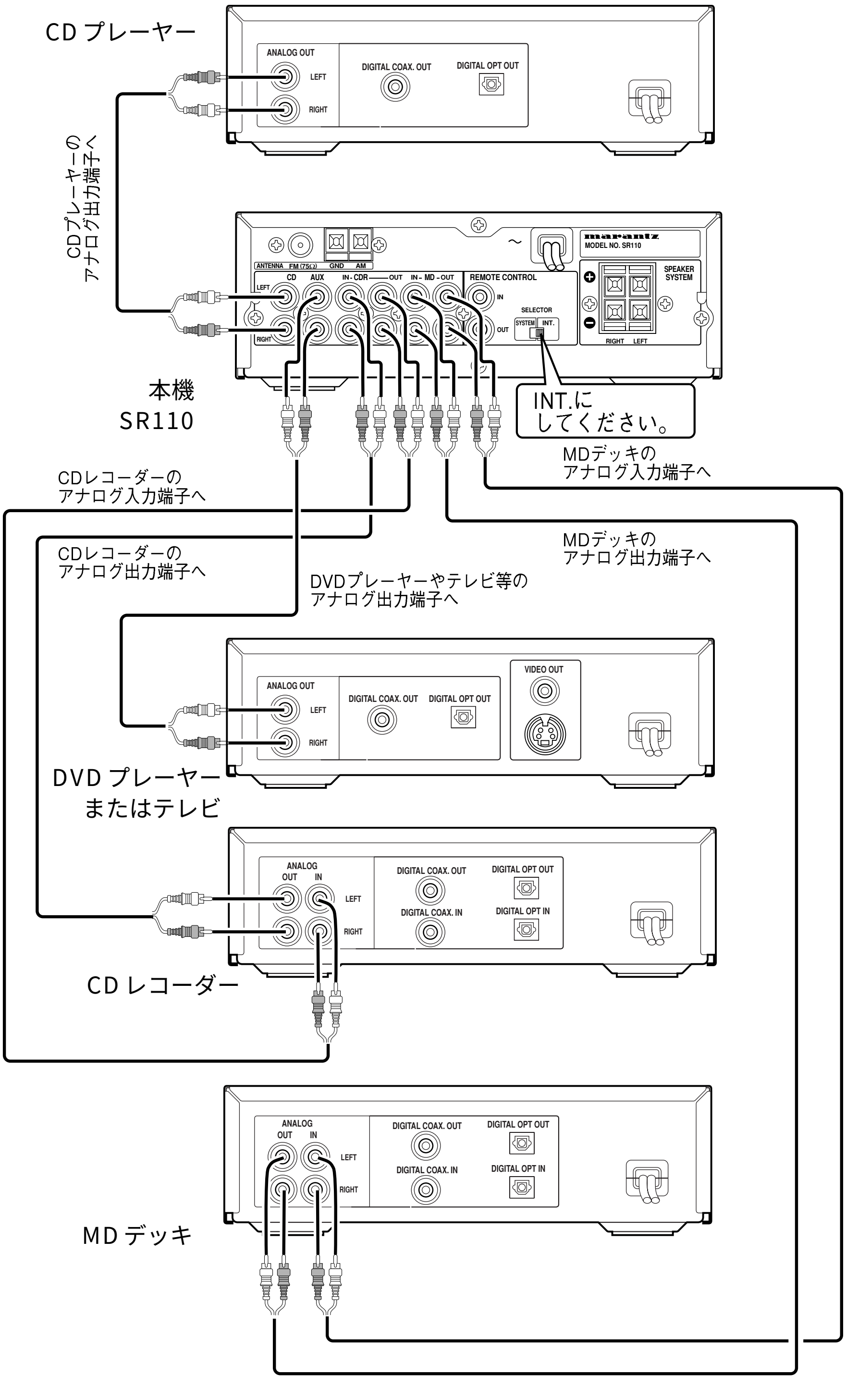
全ての接続が終わったら、家庭用交流100V（50/60Hz）
のコンセントに電源プラグを接続してください。



他のオーディオ機器との接続

各機器間の入出力端子間の接続は下記のように行ってください。

- 本機の SELECTOR (リモコンセレクター)は、「INT.」にしてください。
- 接続を行うときは、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。

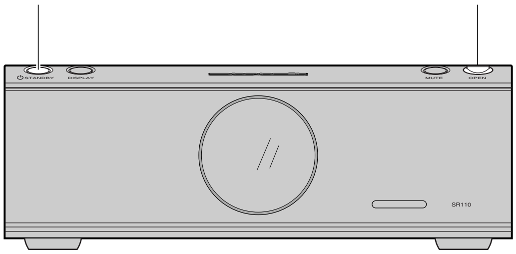


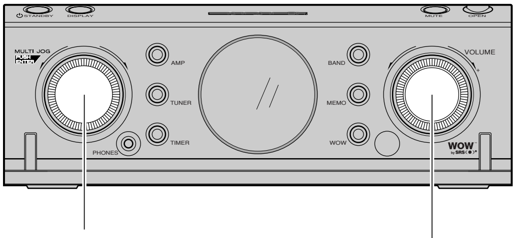
本機の操作方法

アンプの操作

1.
STANDBYボタン

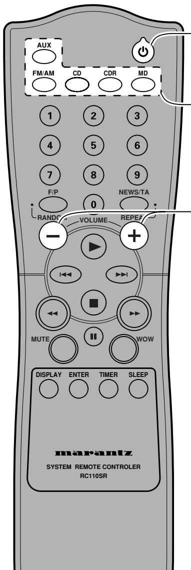
2.
OPENボタン





3.
マルチジョグダイヤル

5.
VOLUMEツマミ



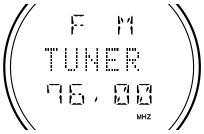
1. ⏻（スタンバイ）ボタン

3. ファンクションボタン

5. VOLUMEボタン

オーディオ機器の再生

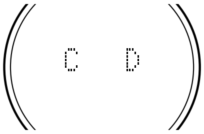
1. STANDBY(**スタンバイ)ボタンを押して電源を入れます。**
- リモコンで操作する場合は、⏻ ボタンを押します。



- システム接続されている機器があれば、本機と連動してそれらの電源も入ります。

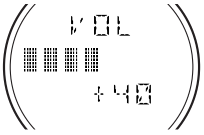
2. OPEN**ボタンを押して、フロントドアを開きます。**

3. **マルチジョグダイヤルを回して、再生する機器を選びます。**
- リモコンで操作する場合は、再生する機器のファンクションボタンを押します。



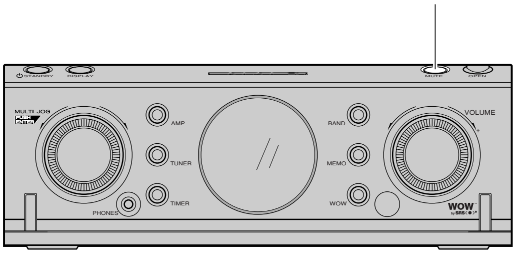
4. **選択した機器の再生を始めます。**
- システム接続されている機器の再生を行うと、本機の入力は自動的にその機器を選択します。
- TUNERを選んだ時の操作は、16ページを参照してください。
- 各機器の操作は、各々の取扱説明書をよくお読みうえ行ってください。
- 次の操作を行うと、本機のリモコン使って選択したマランツ製機器の操作ができます。
  再生を行う機器のファンクションボタンを2秒以内に2回押します。
  選択された機器がシステム接続されていない時でも、この機能は有効です。

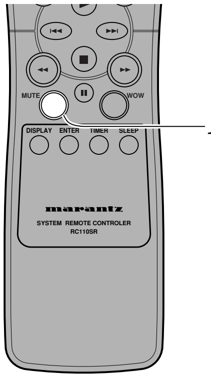
5. VOLUME**ツマミを回して、音量を調整します。**
- リモコンで操作する場合は、VOLUME ボタンを押します。



アンプの操作

1. 2.
MUTEボタン





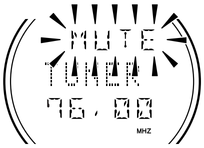
1. 2. MUTEボタン

音声を一時的に消す（ミュート）

スピーカーから出る音声を一時的に消すことかできます。この操作をミュートと呼びます。

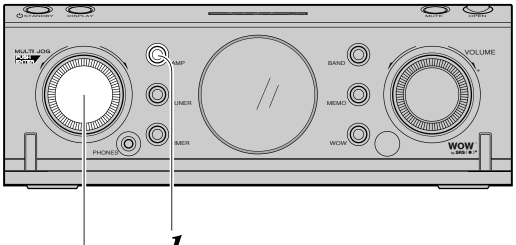
1. **MUTEボタンを押します。**

- 表示部に MUTE が点滅表示されます。



2. **ミュートを解除するには、再度MUTEボタンを押します。**

- 表示部からMUTEが消え、スピーカーから音声が出ます。



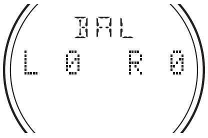
1.
AMPボタン

2. 3.
マルチジョグダイヤル

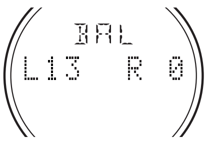
スピーカーのバランスを調整する

マルチジョグダイヤルを使って、スピーカーから出力される左右の音量バランスを調整できます。バランスは13段階で調整できます。

1. **BAL表示が出るまで、AMPボタンを数回押します。**



2. **5秒以内に、マルチジョグダイヤルを回して、バランスを調整します。**

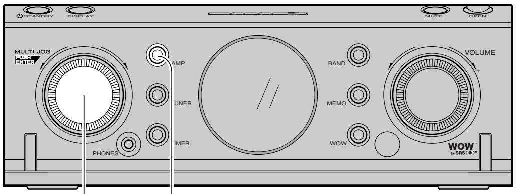


- Ｌの値を大きくすると、右スピーカーからの出力が小さくなります。
  Ｒの値を大きくすると、左スピーカーからの出力が小さくなります。

3. **マルチジョグダイヤルを押して確定します。**

- 調整前の表示に戻ります。

アンプの操作



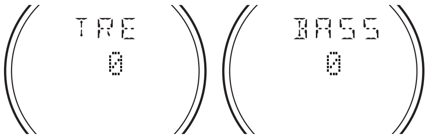
1.
AMPボタン

2. 3.
マルチジョグダイヤル

トーンを調整する（トーンコントロール）

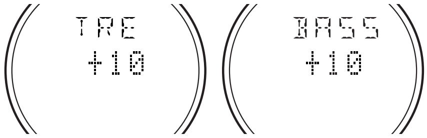
スピーカーから出る音声の高音域と低音域のトーンを調整が出来ます。高音域と低音域共に2段階ステップで±10段階の調整ができます。

1. AMP**ボタンを数回押し、表示部を**TRE**または**BASS**にします。**



- 高音域を調整するときは、TRE表示にしてください。低音域を調整するときは、BASS表示にしてください。
- 高音域と低音域は独立して調整で来ます。

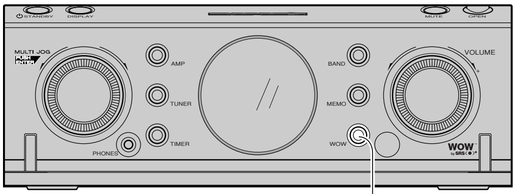
2. **5秒以内に、マルチジョグダイヤルを回して、トーンを調整します。**



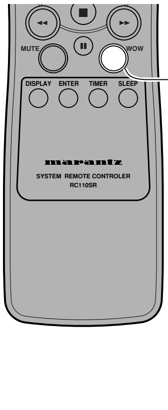
- 値をプラス側に大きくすると、各々のトーンが強調されます。値をマイナス側に大きくすると、各々のトーンが弱められます。

3. **マルチジョグダイヤルを押して確定します。**

- 調整前の表示に戻ります。



2.
WOW**ボタン**



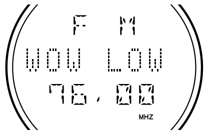
2. WOW**ボタン**

WOW機能を使う

WOW機能を使うと、大型のスピーカー等を使わずに迫力ある低音が楽しめます。

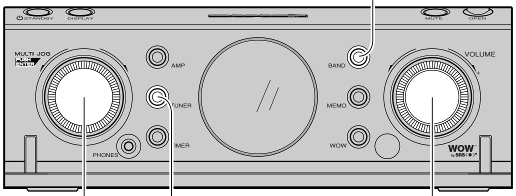
1. **音源を再生します。**

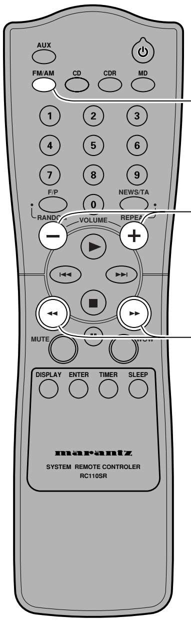
2. WOW**ボタンを数回押し、お好みの効果を決めます。**



- WOW機能が働いているときは、WOW表示が出ます。
- 機能を解除するときは、OFFを選んでください。
- 5秒間何も操作しないと、操作を行う前の表示に戻ります。

チューナーの操作

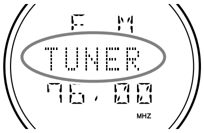




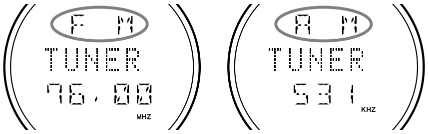
FM/AM 放送を聞く

本機のチューナー部を使って FM または AM 放送を受信できます。

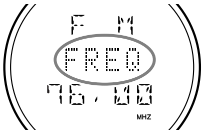
1. **TUNERボタンを数回押し、表示部をTUNERにします。**
- リモコンで操作する場合は、ファンクションボタンの FM/AM を押します。



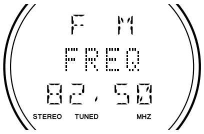
2. **BANDボタンを押して、FMまたはAMを選択します。**
- リモコンで操作する場合は、ファンクションボタンの FM/AM を押します。
- ボタンを押す度に、AM と FM は切り替わります。



3. **TUNERボタンを数回押し、表示部をFREQにします。**



4. **マルチジョグダイヤルを回して、希望の放送局に周波数を合わせます。**

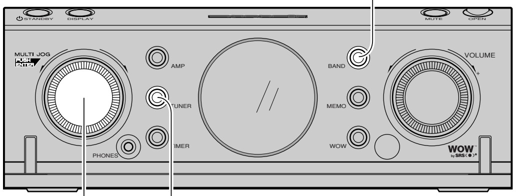


- リモコンで操作する場合は、◀◀ ／ ▶▶ ボタンを押します。
- 放送を受信すると TUNED が表示されます。
- 受信した FM 放送がステレオの場合は、STEREO が表示されます。

5. **VOLUMEツマミを回して、音量を調整します。**
- リモコンで操作する場合は、VOLUME ボタンを押します。

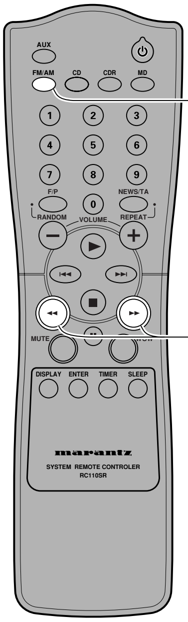
チューナーの操作

2. BANDボタン



1. 3. TUNERボタン

4. 6. マルチジョグダイヤル



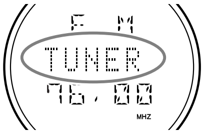
1. 2. FM/AMボタン

4. 5. ◀◀ ／ ▶▶(早送り/早戻し)ボタン

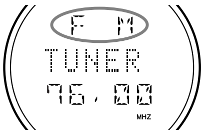
放送の自動選局

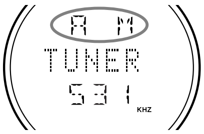
受信できる放送局を自動的に探し出すことができます。

1. TUNERボタンを数回押し、表示部をTUNERにします。
- リモコンで操作する場合は、ファンクションボタンのFM/AMを押します。

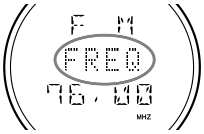


2. BANDボタンを押して、FMまたはAMを選択します。
- リモコンで操作する場合は、ファンクションボタンのFM/AMを押します。
- ボタンを押す度に、AMとFMは切り替わります。

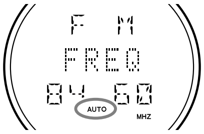




3. TUNERボタンを数回押し、表示部をFREQにします。



4. マルチジョグダイヤルを回し続けて、AUTOを表示させます。

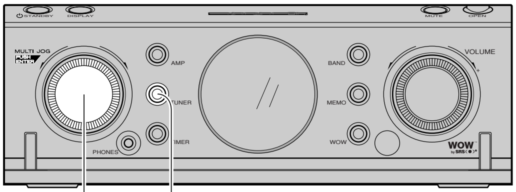


- リモコンで操作する場合は、◀◀ ／ ▶▶ボタンを押します。

5. AUTOが表示されると、マルチジョグダイヤルを放します。
- リモコンの場合は、◀◀ ／ ▶▶ボタンを放します。
- 放送を受信するとTUNEDが表示され、自動選局が止まります。

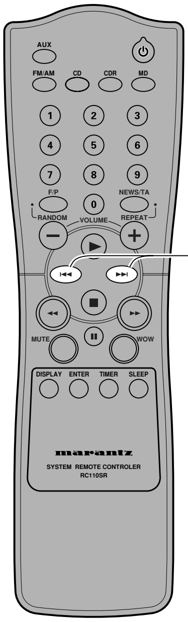
6. 自動選局を停止する場合は、マルチジョグダイヤルを回します。
- リモコンの場合は、◀◀ ／ ▶▶ボタンを押します。

チューナーの操作



1.
TUNERボタン

2.
マルチジョグダイヤル

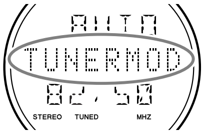


2. ⏮ / ⏭
（スキップ）ボタン

受信モードの切り換え

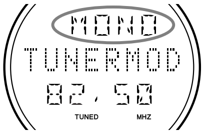
放送局の電波が弱いと、FM のステレオ受信ができない場合があります。この場合、受信モードをモノラル受信に変更してみてください。
AMを受信しているときは、受信モードにかかわらず、常にモノラル受信です。

1. **TUNERボタンを数回押し、表示部をTUNERMODにします。**



2. **5秒以内に、マルチジョグダイヤルを回して、MONOを表示させます。**

- リモコンで操作する場合は、 ⏮ ／⏭ ボタンを押します。

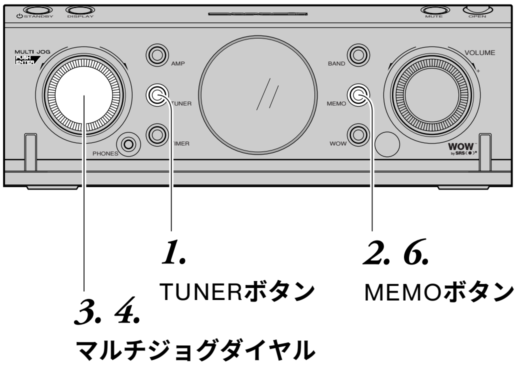


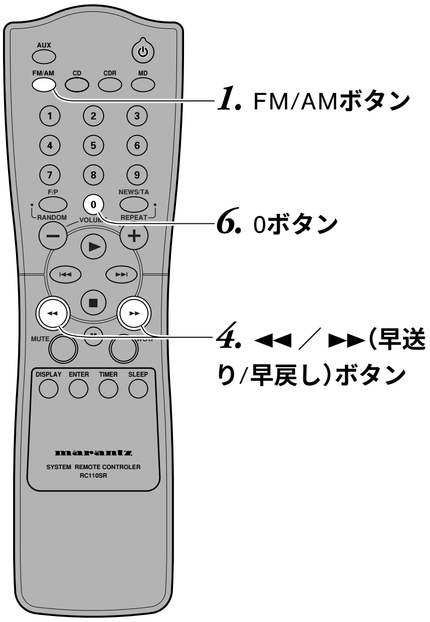
- モノラル受信を選んだ場合、受信途中の放送局間にてノイズが聞こえます。
- AUTO を選んだ場合、FM ステレオ放送を受信すると、自動的にステレオ放送になります。

チューナーの操作

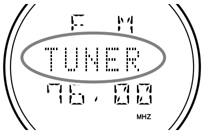
放送局の自動登録

希望の放送局に番号を付けて、登録をすることができます。これをプリセットと呼びます。
FM/AM バンド両方を自動選曲し、受信した放送局をプリセット番号１から最大 30 まで順次登録できます。
登録番号を１から順次記録させる為、再度この機能を動作させた場合、事前に登録した内容は消えてしまいます。
尚、本機は初期状態ですでに30局プリセットされています。

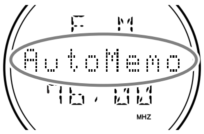




1. **TUNERボタンを数回押し、表示部をTUNERにします。**
- リモコンで操作する場合は、ファンクションボタンの FM/AM を押します。



2. **MEMOボタンを3秒以上押し、表示部をAutoMemoにします。**



- 放送局の自動選局が始まります。
- 受信すると、その局で約 5 秒間停止します。

3. **希望する局の時は、マルチジョグダイヤルを押します。**
- 次のプリセット番号が表示されます。

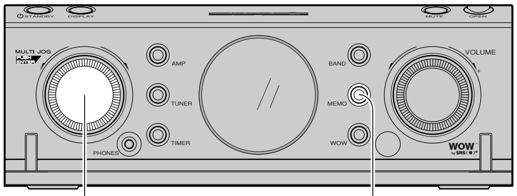
4. **希望しない局の時は、マルチジョグダイヤルを回します。**
- 自動選局が再開します。
- リモコンで操作する場合は、◀◀ ／ ▶▶ ボタンを押します。

5. **手順3と4を繰り返し、プリセットを30局まで行います。**
- 自動選局が終了します。

6. **途中でこの操作を止める時は、MEMOボタンを押します。**
- リモコンで操作する場合は、数字キーの 0 ボタンを押します。

- 登録された放送局の削除はできません。もう一度自動登録か手動登録を行って、新しい放送局を登録してください。

チューナーの操作



2. MEMO**ボタン**

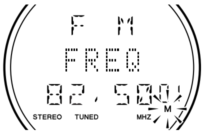
3. 4. **マルチジョグダイヤル**

放送局の手動登録

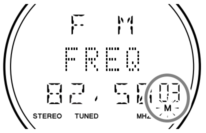
自動登録等でプリセットした局を手動で変更できます。

1. **「チューナーの操作」を参照し、プリセットしたい局を表示します。**

2. MEMO**ボタンを押し、表示部に**M**を点滅表示させます。**

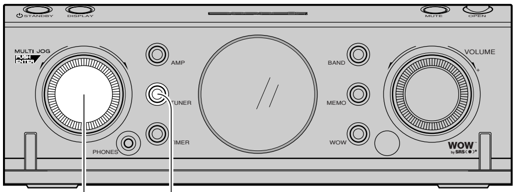


3. **表示部の**M**が点滅している間に、マルチジョグダイヤルを回して、希望するプリセット番号にします。**



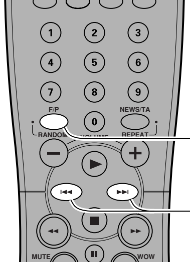
4. **マルチジョグダイヤルを押して、確定します。**

- 登録された放送局の削除はできません。もう一度自動登録か手動登録を行って、新しい放送局を登録してください。



1. TUNER**ボタン**

2. **マルチジョグダイヤル**



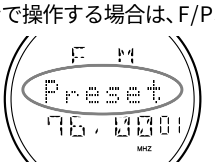
1. F/P**ボタン**

2. ⏮ / ⏭ **(スキップ)ボタン**

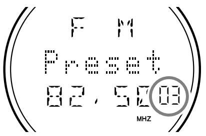
登録した放送局を呼び出す

自動登録等でプリセットした局を手動で変更できます。

1. TUNER**ボタンを数回押し、表示部を**Preset**にします。**
   - リモコンで操作する場合は、F/Pボタンを押します。



2. **マルチジョグダイヤルを回して、希望するプリセット番号にします。**
   - リモコンで操作する場合は、 ⏮ ／ ⏭ ボタンを押します。

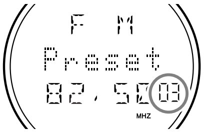


本機を使っての録音

放送の録音

本機に接続されている機器に、本機で受信している放送を録音できます。録音を行う際は、各々の機器の取扱説明書をよくお読みください。

1. **録音をしたい局またはプリセット番号にします。**



2. **接続された機器の入力を、本機のOUT端子と接続されている入力端子に変更します。**

3. **接続された機器を録音状態にします。**

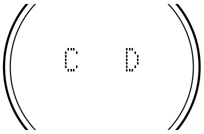
- 本機と当社のCDレコーダーDR110またはMDデッキMD110がシステム接続されているときは、タイマー機能を使って、プリセットされている局の中から希望の時間に録音ができます。

接続された機器間の録音

本機を通して、接続されている機器間での録音が行えます。

1. **マルチジョグダイヤルを回して、再生する機器（再生側）を選びます。**

- リモコンで操作する場合は、ファンクションボタンを押します。



2. **録音を行う機器（録音側）を、録音待機状態にします。また入力を、本機のOUT端子と接続されている入力端子に変更します。**

3. **録音側の録音を開始します。**

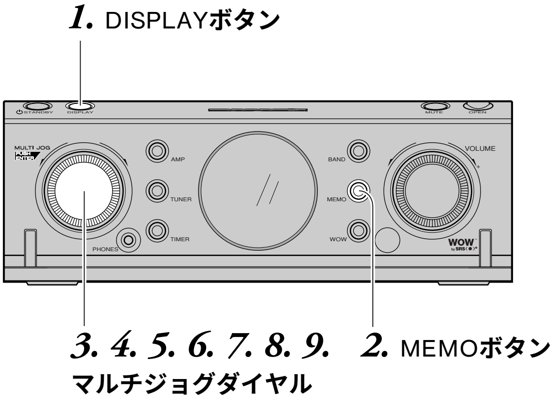
4. **再生側の再生を開始します。**

- 本機と当社の当社CDプレーヤーCD110とCDレコーダーDR110またはMDデッキMD110がシステム接続されているときは、シンクロダビング機能を使って、自動的に録音の開始と停止が行えます。

タイマー機能をつかう

時間を設定する

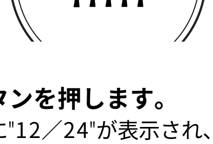
- 本機のタイマー機能を使う前に、時間の設定を行う必要があります。
- タイマー機能を使うと、希望の時間に放送を録音したり、接続した機器の再生を開始することができます。
- 時間は12時間表示と24時間表示が選択できます。
- 各操作は、選択された項目が点滅している間に行ってください。手順の途中で表示が各操作を行う前に戻った時は、途中まで変更した内容はキャンセルされます。



本機での時間設定

1. **表示部に時間表示が出るまで、DISPLAYボタンを数回押します。**

- 初期状態では、時間は0:00が点滅表示されます。



2. **MEMOボタンを押します。**

- 表示部に"12／24"が表示され、"12"が点滅しています。（12時間表示／24時間表示の選択）

3. **マルチジョグダイヤルを回して、12時間表示／24時間表示を選びます。**

4. **マルチジョグダイヤルを押し、時間表示を確定します。**

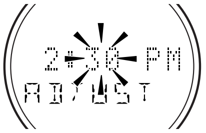
- 表示部に時間が表示され、「時」が点滅しています。（「時」の設定）

5. **マルチジョグダイヤルを回して、現在の「時」を設定します。**

6. **マルチジョグダイヤルを押し、「時」を確定します。**

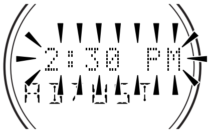
- 表示部に時間が表示され、「分」が点滅しています。（「分」の設定）

7. **マルチジョグダイヤルを回して、現在の「分」を設定します。**



8. **マルチジョグダイヤルを押し、「分」を確定します。**

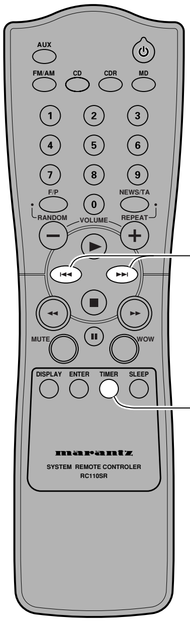
- 表示部に合わせた時間が点滅表示されます。（「時間の決定」の設定）



9. **マルチジョグダイヤルを押し、時間を確定します。**

- マルチジョグダイヤルが押された時から、時計は動き始めます。
  正確に時間を合わせる場合は、時報等に合わせて、マルチジョグダイヤルを押してください。

時間を設定する



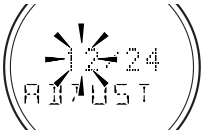
2. 4. 6.
|◀◀ / ▶▶|ボタン

1. 3. 5. 7. 8.
TIMER**ボタン**

リモコンでの時間設定

1. **リモコンの**TIMER**ボタンを**3**秒以上押します。**

- 表示部に"12／24"が表示され、"12"が点滅しています。（12時間表示／24時間表示の選択）



2. **リモコンの|◀◀ / ▶▶|ボタンで**12**時間表示**／24**時間表示を選びます。**

3. TIMER**ボタンを押し、時間表示を確定します。**

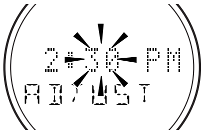
- 表示部に時間が表示され、「時」が点滅しています。（「時」の設定）

4. **リモコンの|◀◀ / ▶▶|ボタンで現在の「時」を設定します。**

5. TIMER**ボタンを押し、「時」を確定します。**

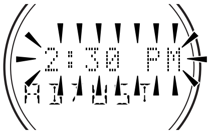
- 表示部に時間が表示され、「分」が点滅しています。（「分」の設定）

6. **リモコンの|◀◀ / ▶▶|ボタンで現在の「分」を設定します。**



7. TIMER**ボタンを押し、「分」を確定します。**

- 表示部に合わせた時間が点滅表示されます。（「時間の決定」の設定）



8. TIMER**ボタンを押し、時間を確定します。**

- TIMERボタンが押された時から、時計は動き始めます。
  正確に時間を合わせる場合は、時報等に合わせて、TIMERボタンを押してください。

タイマーを設定する

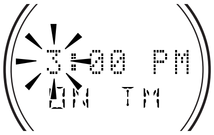
タイマー設定方法

- 本機のタイマー機能を使う前に、時間の設定を行う必要があります。
- タイマー機能を使うと、希望の時間にプリセットされた放送局から、選択した機器に録音できます。
  但し、この機能は、システム接続を行っているときに有効です。
- タイマー機能を使うと、接続した機器(CD110/DR110/ MD110のみ有効)の再生を希望の時間に開始することができます。CD、CD-R(W)またはMDのトラックを選んで再生することもできます。
  但し、この機能は、システム接続を行っているときに有効です。
- 毎日タイマー機能が働く、または一度だけタイマー機能が働くかを選択することができます。

1. TIMER**ボタンを押します。**

- 表示部に"ON TM"が表示され、「時」部分が点滅しています。

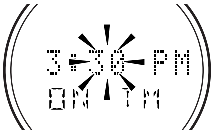
2. **マルチジョグダイヤルを回して、タイマーが働き始める時間を選びます。**



3. TIMER**ボタンを押し、時間を確定します。**

- 「分」が点滅します。

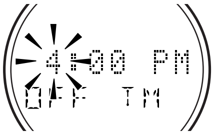
4. **マルチジョグダイヤルを回して、タイマーが働き始める「分」を選びます。**



5. TIMER**ボタンを押し、確定します。**

- 表示部に"OFF TM"が表示され、「時」部分が点滅しています。

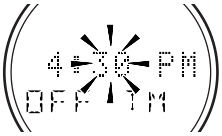
6. **マルチジョグダイヤルを回して、タイマーが終了する時間を選びます。**



7. TIMER**ボタンを押し、時間を確定します。**

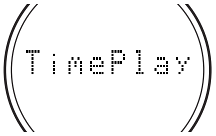
- 「分」が点滅します。

8. **マルチジョグダイヤルを回して、タイマーが終了する「分」を選びます。**



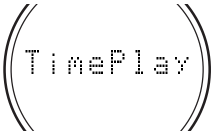
9. TIMER**ボタンを押し、確定します。**

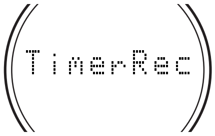
- タイマーモードが表示されます。



10. **マルチジョグダイヤルを回して、タイマーモードを選びます。**

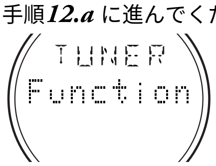
- 接続された機器(CD110/DR110/ MD110のみ有効です)や本機のチューナーの再生を行う場合は、「TimePlay」を選びます。
- 本機のチューナーを使って録音をする場合は、「TimerRec」を選びます。





11. TIMER**ボタンを押し、確定します。**

- 「TimePlay」を選んだ場合、「Function」表示になります。手順***12.a*** に進んでください。

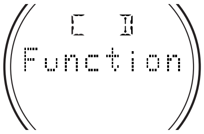


- 「TimerRec」を選んだ場合、「Preset」表示になります。手順***12.b*** に進んでください。

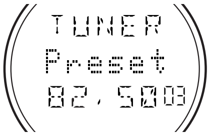
タイマーを設定する

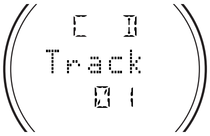
12.a **「TimePlay」を選んだ場合**

1. マルチジョグダイヤルを回して、再生を行う機器を選びます。



2. TIMERボタンを押し、確定します。
3. TUNERを選んだ時は、マルチジョグダイヤルを回して、プリセット番号を選びます。
CD、MDまたはCDRを選んだ時は、マルチジョグダイヤルを回して、再生する曲番（トラック番号）を選びます。（CD110/DR110/ MD110のみ有効です。）



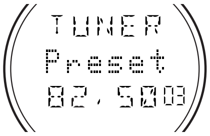


4. TIMERボタンを押し、確定します。

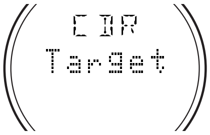
- 表示部に"VolSelect"が表示されます。

12.b **「TimerRec」を選んだ場合**

1. マルチジョグダイヤルを回して、録音を行うプリセット番号を選びます。



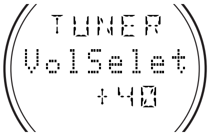
2. TIMERボタンを押し、確定します。
3. マルチジョグダイヤルを回して、録音先の機器を選びます。



4. TIMERボタンを押し、確定します。

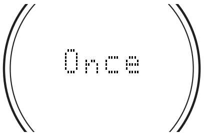
- 「TimerRec」を選んだ場合は、タイマー設定時間の１分前に電源が入ります。
- 表示部に"VolSelet"が表示されます。

13. **マルチジョグダイヤルを回して、再生時の音量を選びます。**



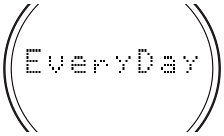
14. TIMER**ボタンを押し、確定します。**

- タイマー再生の方式が表示されます。



15. **マルチジョグダイヤルを回して、タイマー再生の方式を選びます。**

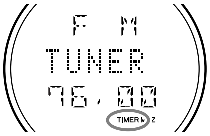
- 「Once」を選んだ場合、タイマー再生は一度だけ行われます。
- 「EvertyDay」を選んだ場合、タイマー再生は毎日行われます。



- この手順で、「TimerOff」を選んだ場合、タイマー設定は解除されます。

16. TIMER**ボタンを押し、設定内容を確定します。**

- 表示部に設定した内容が順次表示されていきます。
- 表示部に設定した内容の表示が終わると、タイマー設定前の表示に戻ります。また、TIMERが表示されます。



17. STANDBY**ボタンを押し、スタンバイ状態にします。**

- 本機のSTANDBYボタンがオレンジ色になります。
- 本機をスタンバイ状態にしないと、タイマーを設定しても、設定した動作を行いません。スタンバイ状態にして、タイマーの設定内容が有効になります。
- 表示部に設定した内容が順次表示されている間でも、STANDBYボタンを押してスタンバイ状態にできます。

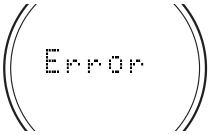
リモコンを使ってのタイマーを設定するときは

- リモコンを使ってタイマー設定するときは、リモコンのボタンは、本機のボタンと次のような関係になっています。
  - リモコンのTIMERボタンは、本機のTIMERボタンと同様に使えます。
  - リモコンの⏻ボタンは、本機のSTANDBYボタンと同様に使えます。
  - リモコンの⏮ / ⏭ボタンは、本機のマルチジョグダイヤルと同様に使えます。

タイマーを設定する

タイマー設定の注意

- タイマーの開始時間と終了時間を同じにはできません。このような設定を行うと、「Error」と表示されます。



- 本機をスタンバイ状態にしないと、タイマーを設定しても、設定した動作を行いません。スタンバイ状態にして、タイマーの設定内容が有効になります。
- 時間を表示したときに、時間が点滅している時は、時間が正しくありません。
  この状態では、タイマー設定は行えません。TIMERボタンを押しても「Timer Setting First!!!!」と出ます。「時間の設定」を再度行ってください。
- 「TimerRec」を選択し、CD-R(W)ディスクに録音するときは次のようなディスクをお使いください。
  「Blank Disc」の表示が出るディスク。
  アンファイナライズされたディスク。
- 「TimePlay」を選択し、タイマーの開始時間になったときに、選んだ機器にディスクが入って無い場合は、電源のみが入ります。
- 本機は停電やACプラグを抜かれても、約5分間は時間のデータを保持します。
  5分間を越えると、時間のデータは正しく保持されません。この時は、時間を表示したときに点滅表示となります。
  時間を表示したときに点滅表示とならないときは、時間のデータが保持されています。停電やACプラグが抜かれたときでも、この状態であれば「時間の設定」を行う必要はありません。

タイマー設定の確認 / 変更

タイマーを使っての再生／録音中には、タイマー設定の確認/変更は行わないでください。タイマー設定が解除されスタンバイ状態になりません。

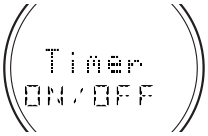
1. STANDBY**ボタンを押し、電源を入れます。**
2. TIMER**ボタンを押します。**
   - TIMERボタンを押すたびに、タイマーの設定内容が表示されます。
3. **変更を行う時は、マルチジョグダイヤルを回して、設定を変更してください。**
   - TIMERボタンを押すたびに、タイマーの設定内容が表示されます。
4. TIMER**ボタンを押し、変更内容の確定または内容の確認を進めてください。**
   - 設定項目の最後は「ONCE」になります。前回「EveryDay」を設定したときは、ここで再度「EveryDay」を選択してください。

タイマー設定の解除

- この操作は、本機でしか行えません。

1. STANDBY**ボタンを押し、電源を入れます。**

2. **表示部に**TIMER　ON/OFF**が出るまで、本機の**TIMER**ボタンを押します。**
   - リモコンのTIMERボタンは、押さないでください。



3. **マルチジョグダイヤルを回して、**OFF**を選びます。**

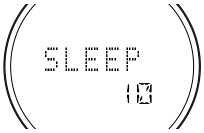
5. **マルチジョグダイヤルを押します。**
   - 表示部からTIMER表示が消えます。

スリープタイマーの設定

設定した時間が過ぎると、自動的に本機をスタンバイ状態にします。
この時、システム接続されている機器があれば、それらの機器もスタンバイ状態になります。

- この設定は、リモコンでしか行えません。
- この設定は、電源が入っているときだけ行えます。

1. **リモコンの**SLEEP**ボタンを押します。**



   - SLEEPボタンを押すたびに、スリープタイマーが働くまでの時間が分で表示されます。

2. **希望の時間で、**SLEEP**ボタンを押すのを止めます。**
   - 表示部の輝度が落ち、スリープタイマー待機状態になります。
     但し、この状態でも、本機の操作はできます。
   - SLEEPボタンを押すと、スタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。

3. **スリープタイマーを解除するには、**SLEEP**ボタンを数回押し、表示を**OFF**にします。**

その他

故障とお考えになる前に

本機の調子がおかしいときは、サービスに依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡してください。

電源が入らない。
- 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

接続されている機器の電源が入らない。
- 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？
- システム接続でご使用されている場合、接続されている機器のパワーボタンが無効となります。本機のパワーボタンを押してください。

スピーカーから音が出ない。
- 本機とスピーカーの接続が不完全ではありませんか？
- PHONES端子にヘッドホンが、接続されていませんか？
  ヘッドホンが接続されているときは、スピーカーから音は出ません。
- お聞きになりたい音源と選んだ機器は、合っていますか？
- V0LUMEツマミが左側に回しきってありませんか？

片方のスピーカーからしか音がでない。
- 本機とスピーカーの接続が不完全ではありませんか？
- 本機と再生側の機器の接続が、不完全ではありませんか？

スピーカーから出る音に異常がある。
- 本機と再生側の機器の接続が不完全ではありませんか？

本機を使って録音ができない。
- 本機と他の機器が、正しく接続されていますか？

シンクロダビング録音ができない。
- 本機と他の機器が、正しくシステム接続されていますか？
- リモコンセレクターが、本機は「SYSTEM」に、他の機器は「EXT.」に設定されていますか？

FMやAM放送が受信できない。
- アンテナが、正しく接続されていますか？
- アンテナを設置した場所での信号が弱くありませんか？
  アンテナの設置場所を変えてみてください。

AM放送にノイズが出る。
- 電気的な外来ノイズに放送が妨害されていませんか？
  妨害を受けない場所にアンテナを移動してください。

FM放送にノイズが出る。
- アンテナを設置した場所での信号が弱くありませんか？
  アンテナの設置場所を変えてみてください。

FM放送がステレオにならない。
- アンテナを設置した場所での信号が弱くありませんか？
- 受信モードが「MONO（モノラル）」に設定されていませんか？

タイマーが設定できない。
- 時間表示が点滅していませんか？
  時間表示が点滅しているときは、時間の設定が正しくありません。このようなときは、タイマー設定ができません。もう一度、時間を設定してください。
- タイマーの開始及び終了時間が同じではありませんか？
  このような、タイマー設定はできません。

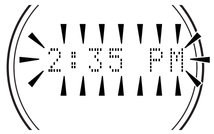
リモコンを使って操作できない。
- リモコンの電池が切れていませんか？
- 間違ったリモコンのボタンを押していませんか？
- 本機とリモコンのボタンの間が離れすぎていませんか？
- 本機とリモコンの間に信号を妨害するものがありませんか？

リセットするには
- 本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズまたは静電気の影響などによって、正常な動作をしなくなることがあります。
- このような場合は、電源スイッチをオンにしたまま電源コードをコンセントから引き抜き、本機の電源ボタンを押しながらプラグに差し込んでマイコンをリセットしてください。リセットすると、本機は工場出荷時の状態に戻ります。
  但し、この操作を行うと、時計の設定、タイマー設定の内容が消えます。またプリセットした内容は、全て工場出荷状態と戻ります。

メモリーのバックアップについて

時間設定のバックアップについて

- 本機の時間設定は、停電やACプラグを抜かれても、約5分間は保持されます。
- 5分間を越えると、時間のデータは正しく保持されません。この時は、時間を表示したときに点滅表示となります。



その他のバックアップについて

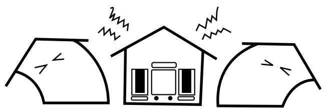
- 本機のメモリーは、ACプラグを抜かれても、約1週間は保持されます。
- この期間を越えると、タイマー設定の内容は消去されます。
  また設定したプリセットメモリーの内容等は工場出荷状態(初期状態)に戻ります。
  このようなときは、時間設定も初期状態に戻り、0:00の点滅表示になります。

保証とアフターサービス

1. この製品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より１年間です。
   お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低 8 年間保有しています。
5. 修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“ 故障とお考えになる前に ”をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いて、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所にご連絡ください。

ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮(思いやり)を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



修理の際にご連絡いただきたい内容

1) 品名　レシーバー
2) 品番　SR110
3) お買い上げ日 年　月　日
4) ご住所
5) お名前
6) 電話番号
7) 故障の状況(できるだけ具体的に)

仕様

FM 部

受信周波数範囲 .... 76.0 〜 90.0 MHz
実用感度 .... 0 dBμ
S/N比 .... モノラル／ステレオ 70/65 dB
高周波歪率 .... モノラル／ステレオ 0.2/0.3 %
ステレオ・セパレーション .... 1 kHz 40 dB
イメージ妨害比 .... 98 MHz 80 dB
チューナー出力レベル .... 1 kHz, ±40 kHz Dev 500 mV

AM 部

受信周波数範囲 .... 531 - 1602 kHz
S/N比 .... 40 dB
実用感度 .... Loop 500 μV
高周波歪率 .... 400 Hz, 30 % Mod. 0.5 %
選択度 .... ±18 kHz 30 dB

オーディオ部

実用最大出力 (EIAJ 6Ω) .... 25 W/Ch
定格出力 (8Ω／40 Hz - 20 kHz) .... 21 W/Ch
全高周波歪率 (40 Hz - 20 kHz、21W出力時) .... 8 Ω 0.08 %
入力感度／入力インピーダンス .... 200 mV/ 47 Kohms
S/N比 .... 80 dB
周波数範囲（アナログ入力／Source Direct） .... 8 Hz - 80 kHz (±3 dB)

総合

電源電圧 .... AC 100 V 50/60 Hz
消費電力（ステレオ定格出力／スピーカー負荷８Ω） .... 58 W
最大外形寸法（幅X高さX奥行き） .... 210X71.5 X310 mm
質量 .... 4.3 Kg（付属品を含まず）

リモコン送信機（RC110SR）

外形寸法（幅X高さX奥行き） .... 57X196.5X27 mm
質量 .... 90 g

付属品

リモコン送信機（RC110SR） 1個
単三形乾電池（SUM-3） 2本
FM フィーダーアンテナ 1本
FMアンテナプラグ 1個
AMループアンテナ 1個
スピーカーコード 2本
保証書 .... 1部（箱に貼り付け）
愛用者カード 1枚
取扱説明書（本書） 1冊

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

日 本 マ ラ ン ツ 株 式 会 社

本　　　社　　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7ー35ー1

お問い合わせは日本マランツ(株)お客様ご相談センターで承っております。

お客様ご相談センター　　〒150-0022　東京都渋谷区恵比寿南1-11-9

電話（03）3719-3481

ご相談受付時間　9:30〜12:00、13:00〜17:00
（土・日・祝日、弊社休日を除く）

修理に関しましては下記日本マランツ(株)各サービスセンター、各営業所で承っております。

国内営業本部	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1-11-9	電話(03)3719-2233
札幌営業所	〒060-0032	北海道札幌市中央区北二条東7-82	電話(011)231-5776
仙台営業所	〒982-0011	宮城県仙台市太白区長町3-7-13	電話(022)308-3566
東京マランツ営業所	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1-11-9	電話(03)3793-5721
神奈川営業所	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	電話(042)748-1245
名古屋営業所	〒465-0024	愛知県名古屋市名東区本郷2-75	電話(052)776-5073
大阪営業所	〒564-0053	大阪府吹田市江の木町2-31	電話(06)6337-6504
広島営業所	〒732-0814	広島県広島市南区段原南2-12-27	電話(082)262-1265
福岡営業所	〒812-0014	福岡県福岡市博多区比恵町1-18	電話(092)441-9131
東京サービスセンター	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	電話(042)748-0762
大阪サービスセンター	〒564-0053	大阪府吹田市江の木町2-31	電話(06)6337-6699

Printed in China　　01/08 MITi 323W851112